

(様式)

## パブリックコメント実施結果報告書

令和2年1月21日

担当課	くらしの安心局 住まいまちづくり課
担当者	榎原 章二
連絡先	0857-26-7398

パブリックコメントのテーマ：とっとり健康省エネ住宅の性能基準(案)

1 手段別意見応募件数（意見件数を記入し、応募者数は（ ）書きをしてください。）

郵便	ファックス	電子メール	県民参画協働課・ 総合事務所等 (意見募集箱)	電子 アンケート	説明会等	その他	計
( )	2 (2)	7 (4)	( )	( )	( )	( )	9 (6)

2 応募意見の政策案等への反映状況

対応状況	件数	主な意見
反映した (一部反映を含む)	1	・UA値0.34以下になれば充填断熱に加え、付加断熱が必要であり、断熱材、施工方法、外壁材の選定等ほとんどマニュアルがない。 性能が高い住宅に多く補助金を出してほしい。 ・県が省エネ住宅の普及を進めること、基準案の策定内容、ともに大いに賛成。ただ、日当たりの良い立地で朝の陽を浴びて起床することの快適さ、健康面でのよさは、建物の断熱性能の向上だけでは得られない。例えば立地条件による補正を加味するなどの工夫があればさらに良いのではと思う。
既に盛り込み済み	1	・断熱工事費回収年数としては住宅ローン控除期間内(13年間)でペイできると考えればT-G1が普及しやすいと感じる。
今後の検討課題	3	・T-G2を当面の目標とし、まずはT-G1をクリアする住宅を増やす政策(補助金、税制優遇、銀行融資優遇等)と両輪で普及させてほしい。 ・世間は“省エネ基準”という言葉だけで難しいと考えるので、親しみやすいPR動画やライフスタイルとして「省エネがイケてる」とイメージさせる講演会を開催してほしい。PR動画は工務店の販売促進にも利用できるようYouTube等でも公開すればよいと思う。 ・3段階の基準を作った意図は何か。高い断熱性能の住宅にはお金がかかるというだけの説明に映る。高い性能にはそれに見合う価値があるはずであり、その価値をしっかりと示して、鳥取から環境立国日本を牽引してほしい。
対応できない	3	・T-G1、T-G2、T-G3はHEAT20の水準と間違えやすい。6地域はUA値0.48以下、5及び4地域はUA値0.34以下が良いと思う。認証の仕組みはBELS(省エネ性能を第三者評価機関が評価し認定する制度の一つ)に統一してほしい。 ・医療費の削減、地球温暖化を防ぐ、住宅の資産価値の見える化などにより質の良い住宅ストックが増え長期的に資産が減らない。素晴らしい取り組み。 優良ストックの形成は空き家問題も改善できる。 健康省エネ住宅を建てる場合には解体費に助成が出るとか、新規の分譲に規制を掛けてはどうか。 ・外皮計算では縁側の断熱効果を適切評価してほしい。日常使用しない室はカーテンが閉め切ってあればある程度の遮熱効果はあると思う。庇の出による日射取得と遮蔽が考慮できる評価してほしい。
その他上記に分類 できないもの	0	
計	8	

3 公表方法として該当するものに○を付してください。

とりネットでの公表(担当課による)	報道機関への提供	県議会への報告	広報紙等への掲載	関係団体等への報告	その他
○		○			

(様式：参考)

## パブリックコメント実施結果報告書

年 月 日

担当課	
担当者	
連絡先	

パブリックコメントのテーマ： \_\_\_\_\_

### 1 手段別意見応募件数（意見件数を記入し、応募者数は（ ）書きをしてください。）

\*1人の意見者が3つの意見を記載されている場合は、「3（1）」と記載してください。

郵便	ファックス	電子メール	県民参画協働課・ 総合事務所等 (意見募集箱)	電子 アンケート	説明会等	その他	計
( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

\*「その他」の例：イベント等でのチラシ配布による意見聴取等

### 2 応募意見の政策案等への反映状況

対応状況	件数	主な意見
反映した (一部反映を含む)		
既に盛り込み済み		
今後の検討課題		
対応できない		
その他上記に分類で きないもの (*例:参考意見等)		
計		

### 3 公表方法として該当するものに○を付してください。

とりネットでの公表(担当課による)	報道機関への提供	県議会への報告	広報紙等への掲載	関係団体等への報告	その他

\*この様式に加え、「意見募集結果概要書」(常任委員会報告様式に準じたもの)を提出してください。とりネットのパブコメページ及び県庁ロビー掲示板で公表します。

\*その他の例：審議会等への報告など